

## 令和元年度 第3回浦河警察署協議会議事概要

1 開催日時  
令和元年12月6日(金) 午後3時00分から午後5時00分までの間

2 開催場所  
札幌方面浦河警察署 大会議室

### 3 出席者

- (1) 警察署協議会委員 7人 (定員7人)
- |       |         |
|-------|---------|
| 会 長   | 池 田 博 英 |
| 副 会 長 | 松 本 トモ子 |
| 委 員   | 小 嶋 恵 子 |
| 委 員   | 小 辻 一 範 |
| 委 員   | 米 山 豊   |
| 委 員   | 神 林 邦仁子 |
| 委 員   | 三 好 昭 弘 |
- (2) 警察署 (6人)
- |           |         |
|-----------|---------|
| 署 長       | 原 田 周 兒 |
| 副 署 長     | 小 林 伸 也 |
| 刑事・生活安全課長 | 伊 藤 慶 一 |
| 地域・交通課長   | 和 田 生 雄 |
| 警 務 係 長   |         |
| 警 備 係 長   |         |

### 4 開催状況

- (1) 会長挨拶
- (2) 署長挨拶
- (3) 浦河署管内における刑事・生活安全業務の取扱状況について  
刑事・生活安全課長説明

(4) 浦河署管内における地域・交通業務の取扱状況について

ア 地域・交通課長説明

イ 第1回浦河警察署協議会諮問事項での意見を反映させた取組の説明

第1回浦河警察署協議会の諮問事項『高齢運転者の交通事故防止対策』でのご意見を反映して、運転免許証の自主返納を希望するものの、やむを得ない事情により警察署の窓口を訪れることが困難と認められる者に対して、自宅を訪問して運転免許の取消しを実施する取組を開始し、その旨を前回の警察署協議会でも紹介した。

その後、同取組の一人目として、9月25日に庶野駐在所管内の高齢の方のお宅で運転免許証の返納手続きを行った。

この模様は、北海道警察初の取組ということで、新聞、テレビなどで大きく報じられた。

警察署協議会委員の皆様のご意見で、高齢運転者の交通事故防止対策が推進できたことをお礼申し上げる。

(5) 警備業務について

ア 警備係長説明

イ 第2回浦河警察署協議会諮問事項での意見を反映させた取組の説明

第2回警察署協議会の諮問事項『外国人が安全・安心に暮らすための方策について』で

- ・ 外国人が交通ルールや標識を理解しているのか不安
- ・ 外国人が事件や事故に遭ったとき、連絡先が複数あると混乱するので、連絡先を雇用主などに一本化してはどうか
- ・ 外国人に運動会等の地域行事に参加してもらっている地区もある。そのように色々な行事に参加してもらえば孤立化を防げるのではないかなどのご意見をいただいた。

当署では警備係と交通係で連携し、外国人が勤務する牧場や、外国人実習生を受入れている水産関係の事業所を訪問し、雇用主に対して

- ・ 警察官を講師とした交通安全等講話の開催を依頼
- ・ 非常時の連絡先を雇用主等へ一本化することを提案

している。まだ全ての事業所を訪問できていないので、今後も継続する。

その他、管内の町役場等と連携して、交通安全や行政手続きに関する講習会や、外国人の参加できる行事を計画・推進していきたいと考えている。

(6) 諮問事項『持続可能な交通安全施設等の整備の在り方について』

ア 諮問事項の説明

急速な人口減少時代の突入による交通量や交通事故の減少、道路交通環境の変化、新たな技術を活用した移動手段の出現により社会は大きく様変わりしてきており、実態に適合しない交通安全施設の増加が予想されることを踏まえ、交通安全施設等の在り方について、ご意見を伺いたい。(地域・交通課長説明)

イ 委員の意見(答申)

(委員)

浦河町は、街中の信号機が多いと感じる。

ひとつひとつについて考えると必要なのかもしれないが、国道に合流する交差点などは、周囲の信号機で赤信号になっていれば、一時停止でも安全に国道に合流できるのではないかと思える箇所がある。

(委員)

浦河町にある陸橋近くの信号などは、冬には、信号待ちの列が凍った橋にまで至って危険を感じる状況になっているのに、青信号の側は車がまったく走っていないのを見ると、感知式信号機や一時停止の方が良いのではないかと思う。

《警察》

浦河町の信号機は定周期式13機、感知式4機、押しボタン信号機21機の計38機、様似町には定周期式4機、感知式2機、押しボタン信号機8機の計14機、えりも町は定周期式1機、押しボタン信号機1機の計2機が設置されているが、昨年の胆振東部地震でのブラックアウトにおいても、交通整理ができなかった時間帯を含めても管内における交通事故は1件も発生しなかった。

この点も踏まえ、必要がないのではないかと思う信号機について、情報をいただければと思う。

(委員)

押しボタン信号機は、1日の内何回押されたのかを調べることができれば、撤去するか否かの目安になるのではないか。

《警察》

現時点で、押しボタンが押下された回数を調査できることができるか判然としないが、参考としたい。

(委員)

横断歩道を増やすことが出来れば、信号機を減らすこともできるのではないか。

(委員)

横断歩道ではない場所を横断して車にはねられる事故を新聞でよく読み、押しボタン信号を押さずに道路を渡る高齢者もよく見掛ける。

横断歩道を増やして押しボタン信号機を減らすのも一つの手ではないか。

《警察》

信号機撤去のプロセスや、新たな設置要望として道路管理者と協議していくことになるので、住民の方からも横断歩道設置の声を上げていただければと思う。

(委員)

高齢者による事故の多発に鑑みると、説明にあった人口減による事故の減少は、一概にそうなると言えないのではないか。

《警察》

高齢者の事故防止は、交通安全施設以外の面でも対策を進めているところである。

ここまでの説明や意見を踏まえて、今一度ご自身の町の状況を見ていただいたうえで、配布した意見聴取票に記載して郵送願いたい。

(7) 質疑・意見

(委員)

自宅に赴いての運転免許の取消し手続きは、現在何件あるのか。

《警察》

業務説明で紹介したものを含めて、現在までに2件の取消し手続きを行った。

(8) 第3回警察署協議会の開催予定について

3月6日(金)に開催を予定する。

以 上